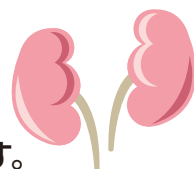


腎臓からのSOSを見逃していませんか？

腎臓の病気は初期には自覚症状がありません。

放置すると人工透析や腎移植が必要になるばかりでなく、
心筋梗塞や脳卒中の危険が高まります。早期から適切な治療を受けることが大切です。



CKD（慢性腎臓病）とは？

- ①尿の異常（尿蛋白、尿潜血）がある
- ②腎臓の働き（eGFR）が正常の60%未満である

①、②のいずれか、又は両方が3か月以上続く状態です。

健診を受けて、自分の腎機能をチェックしましょう！

尿蛋白が陽性だったことは
ありませんか？

尿検査	糖	(-)
	蛋白	(1+)
	潜血	(-)
	検査方法	所見なし
腎機能	尿素窒素	12.1
	クレアチニン	1.1
	e G F R	56.9
	尿酸	3.6

血清クレアチニンの数値から、
腎臓の働きを示すeGFRが分かります。

熊本市には安心してCKDの治療を
受けられる医療連携のしくみがあります

かかりつけ医（熊本市CKD対策推進病診連携医※1）と
腎臓専門医が連携して診療し（2人主治医制）、療養指導にあたります。

※1
病診連携医とは、熊本市が行う説明会に参加し、CKD対策の推進に賛同・協力されるかかりつけ医のことです。

「病診連携医」はホームページで確認することができます。
（熊本市のホームページから「病診連携医」で検索）



2人主治医制

かかりつけ医

紹介

逆紹介※2

腎臓専門
医療機関
（専門医等）

※2
逆紹介とは、症状等が安定した後、患者が受診しやすい地域の「かかりつけ医」に紹介すること。

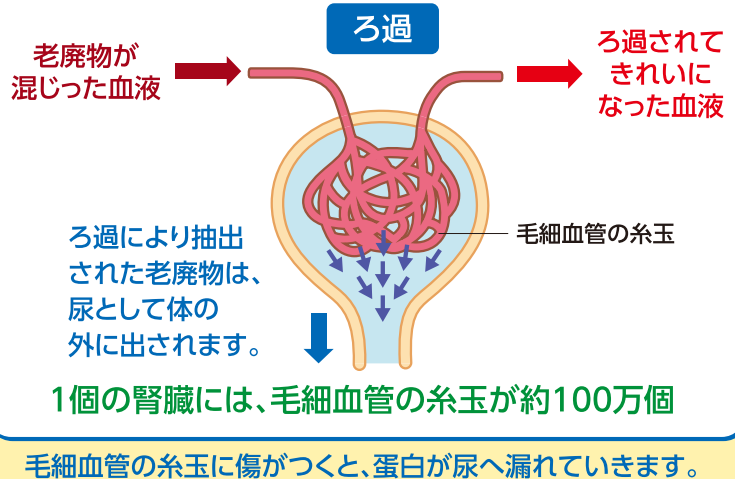
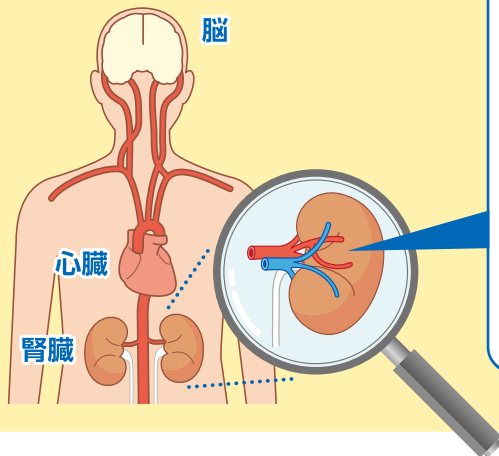


熊本市健康づくり推進課

裏面へ

腎臓と脳や心臓の関係、尿蛋白って？

腎臓は体に2個、
脳や心臓と血管でつながっています。



健診で尿蛋白が「+」と出たけど、どういう意味ですか？

痛みもないし、体調も悪くないから、このまま様子をみようかな？



尿蛋白が「+」ということは、この血管に傷がついて、本来、体の外には出ていかない蛋白が尿に漏れていることを示します。

尿蛋白は腎臓の血管に傷がついているサイン。
全身の血管の傷みも疑われ、**脳卒中**や**心臓病**の危険性が高まります。

腎臓は毛細血管が糸玉のようなかたまりになったものが集まった臓器です。
この血管の糸玉で、**老廃物をろ過**しています。



まずは**早期の受診！**
血管を傷めるような病気（**糖尿病**や**高血圧症**等）があると**CKD**の進行が早まります。
これらの病気をしっかり治療すれば**CKDの進行を遅らせる**ことができます。



かかりつけ医
(病診連携医)

安心して
受診を



腎臓専門医

CKDをきちんと管理すれば、**脳卒中**や**心臓病**の危険性を下げることができます。
熊本市では、**かかりつけ医と専門医が連携して診療にあたるしくみ**があります。
かかりつけ医から専門医へのご紹介があった場合は、是非**専門医を受診**しましょう！